

全国・学力学習状況調査等の結果と指導改善計画について〔算数〕

本年度正答率

	算数A	算数B
本校	81.5	51.4
広島県	79.7	49.5
全国	77.6	47.2

本年度の結果について

○全国・学力学習状況調査の結果から明らかになった課題
 算数Aでは、「単位量当たりの大きさ (64.3%)」「全体の大きさに対する部分の大きさの割合 (67.9%)」、算数Bでは、「きまりの発展的な考察 (46.4%)」「日常生活の事象の数学的な解釈と根拠の説明 (39.3%)」「資料の読み取りと判断の根拠の説明 (46.4%)」など、割合の意味理解や、読み取った情報を根拠として整理し、順序立てて説明する力に課題があることが明らかになった。

重点課題

- ・割合の意味が理解できておらず、図から2つの量の関係を読み取ることができない。
- ・分かっていることを根拠として、順序立てて説明することができていない。

標準学力調査に向けた重点取組

- ・式だけで問題を解くのではなく、問題場面を表した図と式、言葉などを関連付けて、解決させる指導に取り組む。
- ・「まず」「次に」「だから」など、説明の型を提示して、筋道立てて考えたり説明したりする活動を取り入れる。
- ・自分の考えを持たせる場面において言葉や図で説明を書かせたり、振り返りの場面において自分の言葉で考えたことをまとめたりするなど、積極的に書く活動を位置づける。

取組計画表

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
校内研修等 (職員)	・改善計画を行い、2学期から全職員で取り組む内容を共有する。	・自主公開研究会を行う。(提案授業→協議)	・授業研を行う。(授業提案→協議)	・学期末テストの分析を行い、重点指導を行う。	・標準学力テスト実施。	・標準学力テストの分析を行う。	・次年度に向けての計画を立てる。
児童への取組	用語確認小テスト (単元末) のびのびタイム (児童一人一人のつまずきや課題に応じた学習)						
					【検証】標準学力調査 目標値 市平均以上の児童 80%以上		